

地域に愛される会社として その信頼を守り続けたい



群馬県安中市に根差し、創業から60年以上にわたってポリエチレン加工や各種包装資材・容器の販売などを手掛けてきた『英パック』。浅井社長は、創業者である義母、そして急逝された夫の思いを受け継ぎ、事業を推進している。本日は、そんな社長にタレントの野村将希氏がお話を伺った。

—まずは、『英パック』さんの沿革からお聞かせください。

当社は義母がスタートした会社として、創業から60年ほどになります。ポリエチレンの袋やシートの加工からはじまり、現在は各種包装資材や各種容器の販売なども手掛けております。この地域には磯部温泉という観光地がありまし

て、昔から名物の磯部せんべいを売っているお店がたくさんあります。その包み紙がポリエチレンに変わったタイミングで、義母がこの事業を始めたのです。最初は、自分でバイクに乗ってあちこちに配達していたと聞いています。

—浅井社長がこちらを継ぐことになった経緯とは？

私は、以前はコンサートやお芝居の裏方の仕事をしていました。それで、コンサートやイベントの企画の仕事をしていた主人と出会い、結婚。その後、義母が高齢になったことを受けて主人が事業を

after the interview

「浅井社長は、とてもお優しく真面目なお人柄の方でした。ご主人が急逝されて事業を継ぐこととなり、プレッシャーも大きいでしょう。しかし、スタッフの方をはじめとして社長を支えてくださる方はたくさんいます。時には遠慮なく甘えて、気負わずに歩いていってくださいね」

継いでいたのです。しかし、昨年6月に主人が急逝してしまいました……。直前まで元気だったのですが、作中に倒れてそのままでした。訃報を聞いた皆様も本当に驚かされていましたね。地域のお祭りの理事役員を務めたり、子どもの少年野球の保護者代表を務めたりと、活発な人でした。

—そうでしたか……。急なことですし、大変だったでしょう。

ええ。私はあまり前に立つタイプの人間ではないので、主人のサポートをして、できれば子どもに継いでもらえたらと思っていました。しかし、懇意にしてくださるお客様方や、働いてくれているスタッフたちのことを考えるとこのままにしておくわけにはいきませんから、私が継ぐこととなったのです。目まぐるしい日々でしたが、ようやく少し落ち着いてきたところですね。

—ご不安もあるかと思いますが、ご主人もきっと天国で見守っておられることでしょうか。

ありがとうございます。主人が亡くなった時は正直どうしようかと思いましたが、30年来のベテラン社員をはじめとして、スタッフの方々に支えていただきました。主人の訃報を聞いて迅速に動いてくれましたし、パートさん方も協力してくれて。私一人ではどうしようもなかったと思うので、皆には感謝ばかりです。

—そうやって皆様に甘えても良いと思

株式会社 英パック

群馬県安中市郷原 195-4
URL : <https://www.hanabusapack.com>



代表取締役 浅井 亜希子



いますよ。

父も、フォークリフト作業などを手伝いに来てくれてとても助かっています。主人が亡くなる前に、市の指定ゴミ袋を扱う業者として選定されました。私たち夫婦にとっても義母にとっても念願のことでした。それでフォークリフトを導入して、主人が運転していたのです。

—こうやって色々な方に支えられているのは、ひとえにお義母様やご主人、そして社長の人徳ですね。

義母は昭和2年生まれでして、あの時代に女性が一人でお店を始めるのは本当に大変だったと思います。私が知らない苦勞もしてきたんじゃないかなとも思いますね。私は、前職とはまったく違う世界ですから、最初は抵抗がありました。それでも、お客様方やスタッフと関わっていく中で徐々にやり甲斐を感じるようになっていきました。そして、義母や主人が築いてきた信頼を無にしてはいけな、とも思うようになっていったので



す。まだまだ未熟な身ですが、この信頼を守っていきたいですね。

—その思いが伝われば、お客様もスタッフの皆様も付いてきてくれることでしょうか。

そうであれば嬉しいですね。ありがたいことにスタッフも皆良い方で、心で動いてくださる方ばかりです。皆に「ここで働きたい」と思ってもらえるような価値のある会社にしていきたいです。

—それでは、最後に今後についてはどのようにお考えですか。

今は現状維持で精一杯なところがあり

ますが、せっかく包装資材の専門店として長年あり続けてきましたので、もっと裾野を広げて、たくさんの方に当社の魅力を伝えていきたいですね。現在は安中市内がメインですが、今後は市外にも広げていきたいと考えております。そして「『英パック』に頼めば大丈夫だね」と言ってもらえるような会社になりたいです。そのためにも、義母や主人が築いてくれた信頼を守りながら、スタッフと共に一丸となって歩んでいきます。

—私も応援しています！

(2024年10月取材)

column

地域に根差した企業として

▼『英パック』では、LD・HD・PPなど様々なポリエチレン袋やシートの加工を自社で手掛けている。自社在庫の原反であれば小ロットでの対応も可能だ。また、弁当容器、レジ袋、OPP防曇袋、紙袋、食品トレー、フードバック、紙コップなどの包装資材全般も取り扱っており、店頭にない商品も取り寄せ可能だという。

▼こうした包装資材に関する事業のほかにも、『アクアポット』のウォーターサーバーレンタル・自社便でのお水ボトルの配達を行っているほか、パワーフルーツと呼ばれる“ノニ”の実から作られたジュースを販売するなど、多様に展開を見せている。

▼地域に愛される会社として歩み続ける同社。今後どのような展開を見せてくれるのか、楽しみだ。



野村 将希
(俳優)